



Wowza Media Server から Flash のストリーミングを行うための Cisco Show and Share の設定

改訂日：2012年10月31日

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 (www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

内容

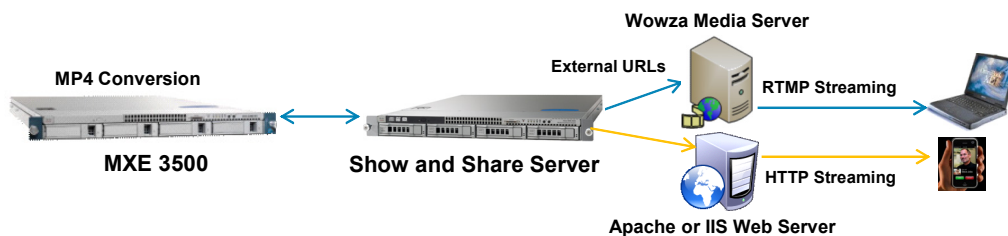
- 「はじめに」 (P.2)
- 「Flash のストリーミングの前提条件」 (P.2)
- 「ビデオ オンデマンド用の Wowza Media Server の設定」 (P.3)
- 「ライブ ストリーミング用の Wowza Media Server の設定」 (P.3)
- 「ビデオ オンデマンド用の Show and Share の設定」 (P.4)
- 「ライブ ストリーミング用の Show and Share の設定」 (P.6)
- 「関連資料」 (P.7)
- 「免責事項」 (P.7)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」 (P.8)

はじめに

この設定ガイドでは、Cisco Show and Share および Wowza Media Server を実行する外部 Web サーバをオンデマンドメディアストリーミングおよびライブ Flash メディアストリーミング用に設定するためのガイドラインを示します (図 1)。これらのガイドラインは、リリース 5.3 以降を実行する Cisco Show and Share および Wowza Media Server Pro 1.7.2 以降用です。

Wowza を使用する Show and Share は、MP4 ファイル形式の H.264 符号化ビデオをデスクトップで再生するために RTMP を介したオンデマンドストリーミングをサポートしています。IOS モバイルデバイスでの MP4 の再生の場合、Apache や IIS サーバ (またはその他のサードパーティ製 Web サーバ) を使用する Show and Share は、HTTP プログレッシブダウンロードを介したオンデマンドストリーミングをサポートしています。

図 1 Wowza Media Server から Flash のストリーミングを行う Show and Share の概要



Flash のストリーミングの前提条件

始める前に、ネットワークがオンデマンドメディアストリーミングおよびライブメディアストリーミング用に設定されていることを確認してください。

1. 次のアプリケーションがインストールされているメディアサーバを定義します。
 - a. FTP (SFTP) サービス
 - b. HTTP Web サービス
 - c. Wowza メディア サービス
2. メディアサーバ上に次の 3 つの格納場所を定義します。
 - a. [storage drive]:\content\rtmp
 - b. [storage drive]:\content\http
 - c. [storage drive]:\content\fileupload
3. FTP (SFTP) サーバが、[storage drive]:\content にアクセスでき、関連付けられたユーザ権限に読み取り/書き込み権限があることを確認します。
4. HTTP サーバのルート URL が [storage drive]:\content であり、サブフォルダにアクセスできることを確認します。
5. HTTP サーバに .mp4 ビデオ対応 MIME タイプが設定されていることを確認します。
6. <http://www.wowzamedia.com> のインストール指示に従って、Wowza Media Server がインストールおよびライセンスされていることを確認します。

ビデオ オンデマンド用の Wowza Media Server の設定

次の手順を実行して、オンデマンドメディア ストリーミング用に Wowza Media Server を設定します。

- ステップ 1** 次のディレクトリにある Wowza Example アプリケーションをインストールします。
[install-dir]\examples\installall.bat
- ステップ 2** Wowza VOD アプリケーションを次のように設定します。
- 元のアプリケーション コンフィギュレーション ファイル [install-dir]\conf\vod\Application.xml のコピーを Application_Original.xml として保存します。
 - <StorageDir> パラメータを変更することで、RTMP の格納場所を指すように Application.xml ファイルを設定します。

```
- <Streams>
  <StreamType>default</StreamType>
  <StorageDir>g:/content/rtmp</StorageDir>
  <KeyDir>${com.wowza.wms.context.VHostConfigHome}/keys</KeyDir>
  <!-- LiveStreamPacketizers (separate with commas): cupertinostreamingpacketizer, s
  sanjosestreamingpacketizer, cupertinostreamingrepeater, smoothstreamingrepeater,
  <LiveStreamPacketizers/>
  <!-- Properties defined here will override any properties defined in conf/Streams.xml
  application -->
  <Properties> </Properties>
</Streams>
```

次に、「[ビデオ オンデマンド用の Show and Share の設定](#)」(P.4) の説明に従って、VOD 用に Cisco Show and Share を設定します。

ライブ ストリーミング用の Wowza Media Server の設定

次の手順を実行して、ライブ メディア ストリーミング用に Wowza Media Server を設定します。

- ステップ 1** 「[ビデオ オンデマンド用の Wowza Media Server の設定](#)」の項で説明しているように、Wowza Example アプリケーションをインストールしていることを確認します。
- ステップ 2** 次のフォルダを作成します。[install-dir]\applications_defapp_
- ステップ 3** ファイル [install-dir]\conf\publish.password を編集し、ユーザ名とパスワードを追加します。
- ```
RTP password file (format [username][space][password])
username password
cisco changeme
```

次に、「[ライブ ストリーミング用の Show and Share の設定](#)」(P.6) の説明に従って、ライブ イベント用に Cisco Show and Share を設定します。

## ビデオ オンデマンド用の Show and Share の設定

次の手順を実行すると、Show and Share は、オンデマンド コンテンツを Wowza サーバ上に格納し、ビデオ サムネイルの選択時にクライアント プレーヤーを Wowza Media Server に転送できるようになります。

Cisco Media Experience Engine (MXE) 3500 での Cisco Show and Share および Cisco Digital Media Manager の有効化の詳細については、Cisco.com の次の統合ノートを参照してください。

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps12130/products\\_installation\\_and\\_configuration\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps12130/products_installation_and_configuration_guides_list.html)

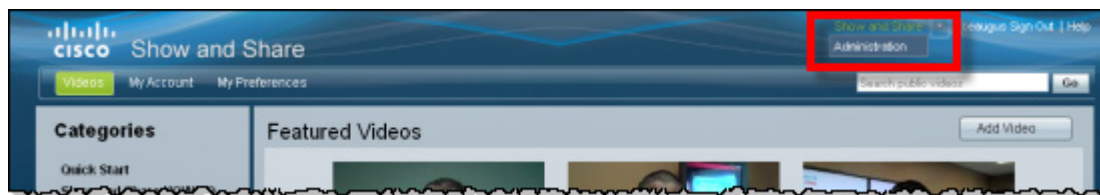


(注)

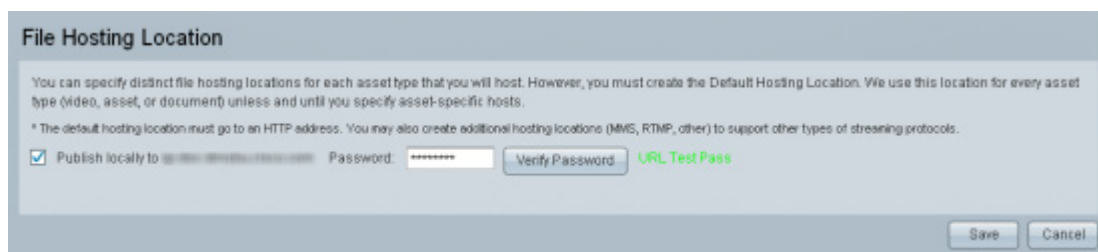
重複ファイル エラーを回避するには、RTMP および HTTP に一意の URL ディレクトリの場所を指定する必要があります。RTMP および HTTP を同じディレクトリに配置することはできません。

次の手順を実行して、外部のファイル ホスティング ロケーションを 3 つ作成します。

- ステップ 1** 管理者ロールを持つアカウントで、またはスーパーユーザとして Cisco Show and Share にログインします。
- ステップ 2** ページの右上隅にあるグローバル ナビゲーション ドロップダウン メニューから [Administration] を選択します。



- ステップ 3** [Setup] > [Show and Share] を選択します。[File Hosting Location] ページが表示されます。デフォルトでは、[Publish locally to <Show\_and\_Share\_appliance\_FQDN>] というチェックボックスがオンになっています。



- ステップ 4** [Publish locally to] チェックボックスをオフにします。[File Hosting Location] 選択ウィンドウが表示されます。



- ステップ 5** 次のパラメータを使用して RTMP ファイル ホスティング ロケーションを作成します。
- [File Hosting Location Name] : RTMP MP4
  - [Accepts Files with extensions] : \*.mp4、\*.m4v、および \*.mpv4
  - [File Upload Protocol] : FTP または SFTP
  - [Host Address] : 関連するファイル タイプのファイルを展開するリモート サーバの DNS 解決可能な FQDN またはルーティング可能な IP アドレス。FQDN を使用することをお勧めします。
  - [Login Name] および [Login Password] : リモート サーバを使用するのに十分な権限を持つユーザーアカウント。指定したログイン名に割り当てられたパスワード。
  - [Directory root location] : 配信するファイルへの相対ディレクトリパス。例 : /content/rtmp
  - [Directory root URL path] : Cisco Show and Share がユーザーのファイルを参照する URL。例 : rtmp://media\_server:1935/vod/mp4:
- ステップ 6** 次のパラメータを使用して HTTP ファイル ホスティング ロケーションを作成します。
- [File Hosting Location Name] : HTTP MP4
  - [Accepts Files with extensions] : \*.mp4、\*.m4v、および \*.mpv4
  - [File Upload Protocol] : FTP または SFTP
  - [Host Address] : 関連するファイル タイプのファイルを展開するリモート サーバの DNS 解決可能な FQDN またはルーティング可能な IP アドレス。FQDN を使用することをお勧めします。
  - [Login Name] および [Login Password] : リモート サーバを使用するのに十分な権限を持つユーザーアカウント。指定したログイン名に割り当てられたパスワード。
  - [Directory root location] : 配信するファイルへの相対ディレクトリパス。例 : /content/http
  - [Directory root URL path] : Cisco Show and Share がユーザーのファイルを参照する URL。例 : http://media\_server/http
- ステップ 7** 次のパラメータを使用して新しいファイル ホスティング ロケーションを作成します。
- [File Hosting Location Name] : Generic File Upload
  - [Accepts Files with extensions] : \*.\*
  - [File Upload Protocol] : FTP または SFTP
  - [Host Address] : 関連するファイル タイプのファイルを展開するリモート サーバの DNS 解決可能な FQDN またはルーティング可能な IP アドレス。FQDN を使用することをお勧めします。
  - [Login Name] および [Login Password] : リモート サーバを使用するのに十分な権限を持つユーザーアカウント。指定したログイン名に割り当てられたパスワード。

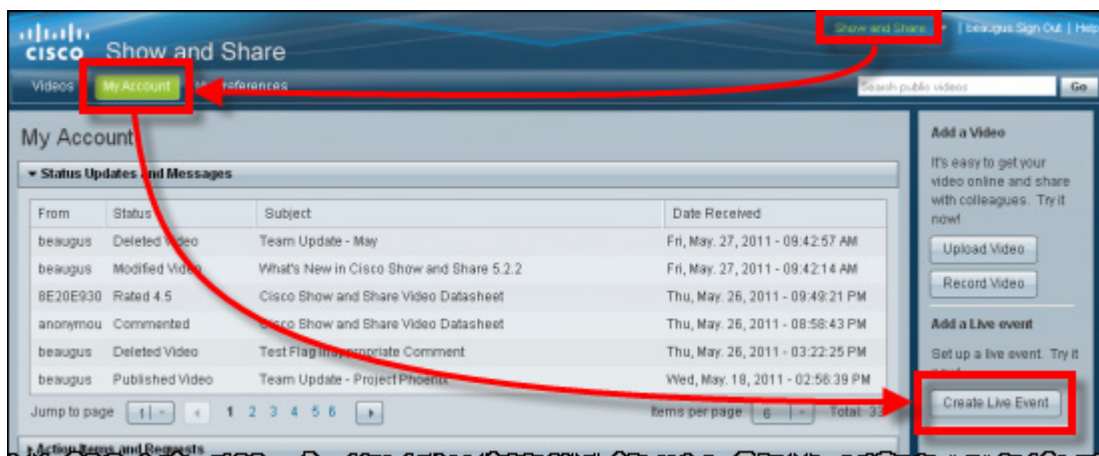
- f. [Directory root location] : 配信するファイルへの相対ディレクトリパス。例 : /content/fileupload
- g. [Directory root URL path] : Cisco Show and Share がユーザのファイルを参照する URL。例 : http://media\_server/fileupload

これで、Wowza Media Server からデスクトップおよびモバイル デバイスに MP4 ビデオをストリーミングするように Show and Share が設定されました。MP4 ビデオをアップロードし、ビデオが Wowza コンテンツ ディレクトリに表示されることを確認する必要があります。

## ライブストリーミング用の Show and Share の設定

次の手順を実行すると、Show and Share は Wowza サーバからライブ コンテンツをストリーミングできるようになります。

- ステップ 1** ライブ イベント ユーザ ロール権限を持つアカウントで Cisco Show and Share にログインします。
- ステップ 2** [My Account] をクリックして、[Create a Live Event] をクリックします。[Create a Live Event] ウィンドウが開きます。



- ステップ 3** ライブ ストリームが Cisco Digital Media Encoder から発生していない場合は、[Choose a Live Event Type] フィールドで [non-DME Live Event] をクリックします。Wowza Media Server に加えて、Cisco TCS や MXE 3500 エンコーダも含まれます。
- ステップ 4** ビデオに関する情報を [Live Event Basic Setup] ウィンドウに入力します。
- ステップ 5** 次の形式を使用して、Wowza Media Server のビデオ URL を入力します。  
`rtmp://servername/application/codecID:streamname.extension`  
 例 :  
`rtmp://wowza/live/mp4:`
- ステップ 6** [Save as Draft] をクリックします。
- ステップ 7** [My Account] ページの [Videos] 領域で、[Live Events] タブをクリックしてイベントを表示します。ライブ イベントを選択し、次の操作を行います。
  - a. [Publish] をクリックして、ライブ イベントのリストを Show and Share にパブリッシュします。



- b. このブロードキャストを開始する場合は、[Administer] をクリックし、[Main administrative controls] 領域の [Start] をクリックします。

**ステップ 8** Show and Share でライブ イベントを表示します。

ライブ ストリーム URL を RTMP MP4 メディア プレーヤー (VLC など) に直接入力して、ライブ ストリーム URL をテストすることもできます。

これで、Wowza Media Server からライブ コンテンツをストリーミングするように Show and Share が設定されました。ライブ イベント ストリームを作成およびテストする必要があります。

## 関連資料

その他の製品統合手順については、Cisco.com の次のリソースを参照してください。

### Cisco Show and Share

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps6682/products\\_installation\\_and\\_configuration\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6682/products_installation_and_configuration_guides_list.html)

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps6682/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps6682/tsd_products_support_series_home.html)

### Cisco MXE 3500 :

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps12130/products\\_installation\\_and\\_configuration\\_guides\\_list.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps12130/products_installation_and_configuration_guides_list.html)

[http://www.cisco.com/en/US/products/ps12130/tsd\\_products\\_support\\_series\\_home.html](http://www.cisco.com/en/US/products/ps12130/tsd_products_support_series_home.html)

## 免責事項

このマニュアルの目的は、本製品の使用と設定に際して読者をサポートすることです。シスコおよび他の製造元の製品の機能は時間とともに変化するため、必要な設定がここで示したものと異なる場合があります。この文書の変更に関するご提案については、シスコ認定サービス担当者にご連絡ください。

技術サポートが必要な場合は、シスコ認定サービス担当者にお問い合わせください。

製品の仕様およびこのガイドの情報は、シスコにより予告なく変更される場合があります。このガイドに記載された情報の提供にあたっては完全かつ正確となるようあらゆる努力を行っておりますが、この文書内で見つかるあらゆる誤りまたは不正確な表現に対し、シスコはいかなる責任も負いません。

Cisco® is a registered trademark belonging to Cisco ASA. Other trademarks used in this document are the property of their respective holders.

このガイドは、すべての著作権および知的財産権表示を含む全体を、当該の製品の使用に関連して、限られた部数だけ複製することができます。前文に記載の限定付き例外を除き、シスコの書面による事前の同意がない限り、いかなる形式であれ、あるいは電子的、機械的、複写またはその他のいかなる方法であれ、このガイドのいかなる部分も複製、検索システムへの保存、または転送を行うことはできません。

## マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『*Information Packet*』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。



©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systemsロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター

0120-092-255(フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間: 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>